

春を告げる小さな赤い花 —ハナノキ—

寒さの厳しかった冬が過ぎ、3月になると春を待っていたかのように艶やかに息づく植物が見られるようになります。その中に、全体が赤く見えるほど花をつける木があります。「ハナノキ」です。陶史の森では第1駐車場やBBQ場の周辺でたくさん見られます。

ハナノキはカエデ科の落葉高木で、樹高25メートルを超えるものもあります。漢字で「花の木」と表す名前は、花が咲いた姿が赤く美しいことに由来します。また、3月下旬になると紅色で奇怪な形状の花を咲かせます。雌花と雄花を別々の個体につける雌雄異株であり、雄花の方が集まってつくので美しさが目立ちます。1つの花には萼片と花弁が5枚ずつあり、萼片の長さは3ミリメートルくらい、花弁はそれよりもやや短いです。雌花の雌しべは、雄花の雄しべよりも短く、先が2つに裂けた花柱（雌しべ）が飛びでて、Vサインのようになっています。葉は長さ4～10センチメートルくらいの大きさで、先端は鋭くとがり、縁はギザギザしています。秋にはカエデと同様に橙、赤、黄色に色付き、鮮やかな紅葉を楽しむことができます。

1年のうち春と秋で異なる姿を見せるハナノキを、陶史の森でも楽しんでみませんか。



ハナノキの花

森の日記

展望台から大パノラマ

1月17日、林泉の池に氷がはる底冷える朝でしたが、澄み切った空気の中、展望台からの眺めは真っ青な空と雪をかぶった山々のすばらしいパノラマでした。

左の写真は「御嶽山」と「白山連峰」です。ほかにも中央アルプス、恵那山、伊吹山、名駅付近の高層ビル群など遠方にある山々や建物が見られ、展望台にある大型双眼望遠鏡を覗くと、より鮮明に見ることができ感動的でした。

多くの人がウオーキングを兼ねて展望台へ来て絶景を楽しんでいます。晴天で午前10時ごろまでの眺めが良さそうです。

展望台からの御嶽山▶



◀白山連峰



教室のご案内

バードウォッチング（自由参加）

- ・ 3月24日（日）午前9時～11時
初春の野鳥を観察します。
- ・ 4月28日（日）午前9時～11時
春の野鳥を観察します。

※陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

ギフチョウ観察会（要申込／定員10人）

3月31日（日）午前9時～11時30分

ヒツジの毛刈り（要申込／定員10人）

4月中旬（予定）午前9時～11時30分

※開催日は、4月に入ってからお問い合わせください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。